

中学生が 東日本大震災の復興現場で作業体験 ～職場体験学習参加者による工事作業体験～

仙台市内の中学生が、三陸沿岸道路の現場で工事作業を体験します。
対象となる中学生は、仙台河川国道事務所に職場体験学習で参加する生徒達で、作業を通して三陸沿岸道路の進捗や、まちづくりや復興における土木事業の重要性を知ってもらおうと実施するものです。

- 実施月日 平成27年11月18日(水) (1時間程度を予定)
- 合流場所 と 待ち合わせ時間 南三陸さんさん商店街駐車場 ポータルセンター前
13:00
- 実施場所 (工事箇所) ① 南三陸道路 4号トンネル及び、大上坊川橋(見学)
② 南三陸道路 大上坊川橋上部工工事(体験)
- 参加者 仙台市立五橋中学校 2学年 4名(男子2名、女子2名)
- 実施概要 橋の構造を学び、建設資材に触れてみる、その他作業体験

< 発表記者会 : 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、気仙沼記者クラブ >

お問い合わせ

- 体験型実施内容についてはこちら
(事業内容及び職場体験学習について)

国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所 TEL 022-304-1902

計画課長 おだしま えいじ
小田島 栄治
計画課 専門職 はやしだ ひろあき
林田 浩明

- 職場体験学習における教育の取り組みについてはこちら

仙台市立五橋中学校 TEL 022-225-5476

2学年担当 むらかみ ふみとし
村上 文俊

南三陸道路、歌津本吉道路(歌津～本吉)

志津川IC(仮) ▶ 本吉IC(仮)

路線概要 南三陸道路

三陸沿岸道路「南三陸道路」は、本吉郡南三陸町志津川字小森(志津川IC(仮))から本吉郡南三陸町歌津字白山(歌津IC(仮))を結ぶ延長7.2kmの自動車専用道路です。

この区間は、平成20年度に事業化となりました。

路線概要 歌津本吉道路(歌津～本吉)

三陸沿岸道路「歌津本吉道路(歌津～本吉)」は、本吉郡南三陸町歌津字白山(歌津IC(仮))から気仙沼市本吉町津谷長根(本吉IC(仮))を結ぶ延長約12kmの自動車専用道路です。

この区間は、平成23年度に事業化となりました。

事業経緯

基本計画決定
平成5年
7月30日

整備計画決定
南三陸道路
/平成21年9月13日
歌津本吉道路(仮)
/平成24年4月17日

事業化
南三陸道路
/平成20年度
歌津本吉道路(仮)
/平成23年度

開通
志津川IC(仮)～
歌津IC(仮)間
/平成20年度
歌津IC(仮)～
本吉IC(仮)間
/平成23年度

南三陸道路		歌津本吉道路(歌津～本吉)	
起 点	本吉郡三陸町志津川小森	本吉郡三陸町志津川白山	本吉郡三陸町津谷長根
終 点	本吉郡三陸町志津川白山	気仙沼市本吉町津谷長根	
延 長	7.2km	12km	
幅 員	2車線 13.5m(標準)	2車線 13.5m(標準)	
構造規格	第1種第3級	第1種第3級	
設計速度	80km/h	80km/h	

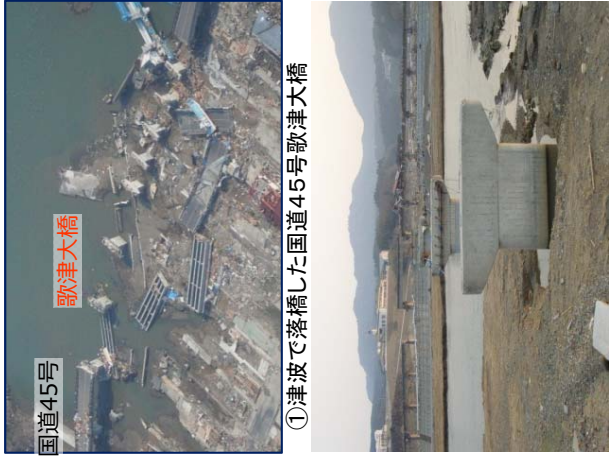
計画諸元



南三陸道路・歌津本吉道路の整備効果

効果①：災害時における緊急輸送路の確保

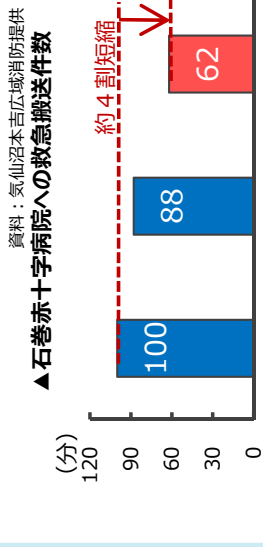
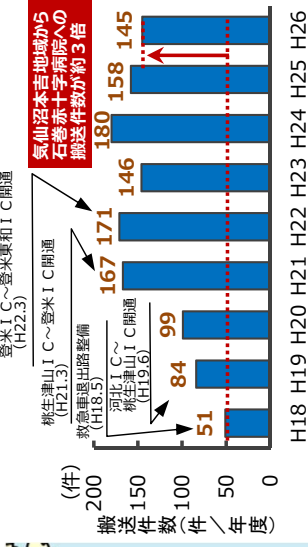
- ◆ 津波により国道45号等の幹線道路が通行止め
- ◆ 津波浸水域の回避により、緊急輸送路が確保され、緊急支援物資等の輸送及び避難道路として機能



▲ 東日本大震災発生後の道路状況 (H23.3.12時点)

効果②：高次救急医療施設への速達性の確保

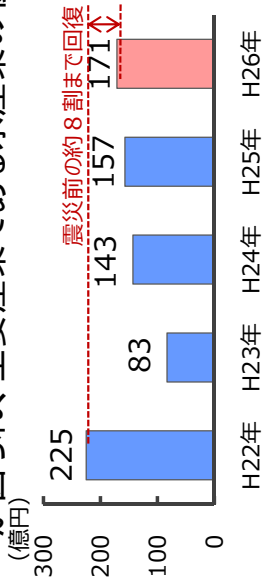
- ◆ 気仙沼本吉地域から石巻赤十字病院への救急搬送は年々増加
- ◆ 搬送時間が約4割短縮し、迅速な救急搬送を支援



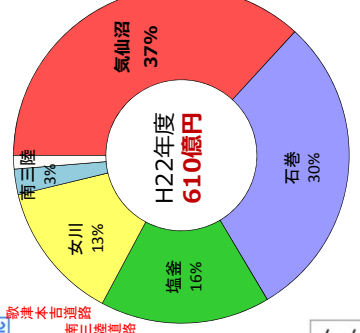
▲ 気仙沼市から石巻赤十字病院までの所要時間

効果③：沿岸地域の主要産業である水産業を支援

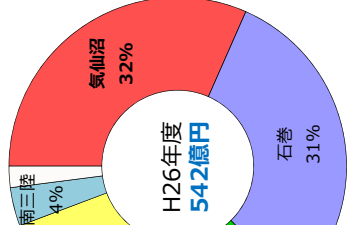
- ◆ 気仙沼港の水揚漁獲高は、震災以前の約8割まで回復
- ◆ 三陸沿岸道路の整備により、水産物等の輸送効率化・品質向上が図られ、主要産業である水産業の復興を支援



【震災前】



【震災後】



▲ 三陸沿岸道路開通による出荷経路の変化